

日本市民スポーツ連盟

認定コース

水天宮・日本橋・神田明神・湯島天神

Bコース 10 Km

主催 日本市民スポーツ連盟

協力 緊急連絡先

電話：03-6240-0792

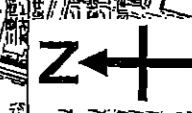
コース 説明は裏面にあります。

平日は17時（土曜日は14時）
までに ゴールしてください

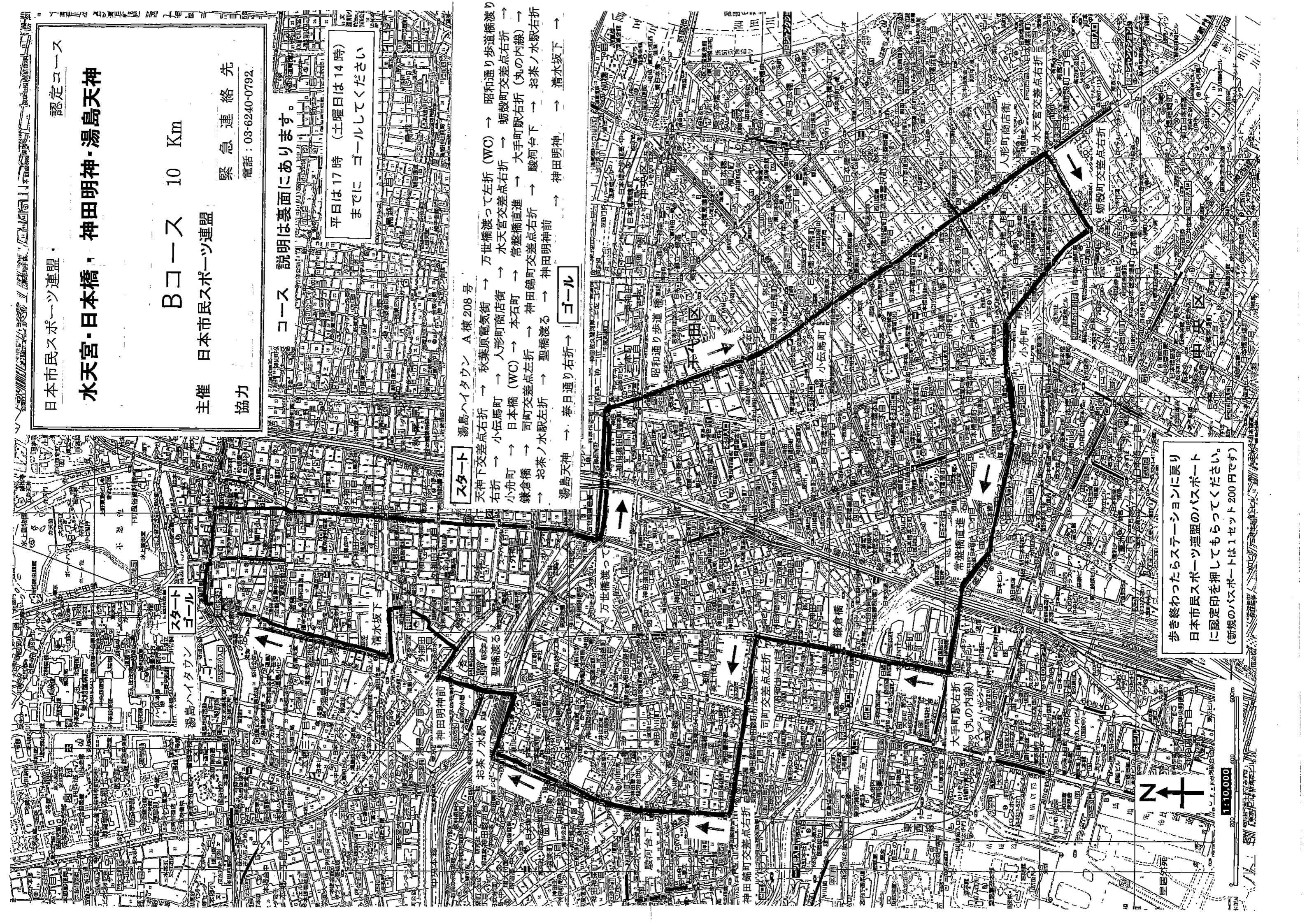
スタート 湯島ハイタウン A棟208号

天神下交差点右折 → 秋葉原電気街 → 万世橋渡って左折 (WC) → 昭和通り歩道橋渡り
 右折 → 小伝馬町 → 人形町商店街 → 水天宮交差点右折 → 蛸殻町交差点右折 →
 小舟町 → 日本橋 (WC) → 本石町 → 常盤橋直進 → 大手町駅右折 (丸の内線) →
 鎌倉橋 → 可町交差点左折 → 神田錦町交差点右折 → 駿河台下 → お茶ノ水駅右折
 → お茶ノ水駅左折 → 聖橋渡る → 神田明神前
 湯島天神 → 春日通り右折 → **ゴール**
 → 神田明神 → 清水坂下 →

歩き終わったらステーションに戻り
 日本市民スポーツ連盟のバスポート
 に認定印を押してもらってください。
 (新規のバスポートは1セット200円です)



1:10,000



水天宮・日本橋・神田明神・湯島天神

距離 10 Km

スタート

湯島ハイタウン A棟 208号
 天神下交差点右折 → 秋葉原電気街 → 万世橋渡って左折 (WC) → 昭和通り歩道橋渡り
 右折 → 小伝馬町 → 人形町商店街 → 水天宮交差点右折 → 蛸殻町交差点右折 →
 小舟町 → 日本橋 (WC) → 本石町 → 常盤橋直進 → 大手町駅右折 (丸の内線) →
 鎌倉橋 → 司町交差点左折 → 神田錦町交差点右折 → 駿河台下 → お茶ノ水駅右折
 → お茶ノ水駅左折 → 聖橋渡る → 神田明神前 → 神田明神 → 清水坂下 →

湯島天神 → 春日通り右折 → **ゴール**

聖橋

昭和2年、関東大震災後の復興橋の一つとして架設された。長さ92m、幅22m鉄骨鉄筋コンクリート造り。橋名は一般からの公募、この橋は北区滝野川の音無川のモデルにもなっている。

神田明神・神田神社

もともと大手町将門塚にありましたが1616年に現在地に移ってきました。大国主命を当初は祭っていたのですが、後に平将門を祭るようになりました。坂下の芳林小学校の辺りに「南総里見八犬伝」の滝沢馬琴が住んでいたそうです。

湯島天神

切通し坂と石川啄木 (湯島天神裏)

朝日新聞校正係として勤務していた啄木は、深夜上野広小路の駅をおり、下宿喜之床まで歩いて帰っていました。歌碑が坂の途中にあります。「二晩おきに夜の一時ごろに切通し坂を登りしも、勤めなればかな」(悲しき玩具より)

万世橋

明治6年(1873)、筋違見附門を取り壊した時、その石材で初めて石橋をかけ「よろずよ橋」と名付けました。一名「めがね橋」とも呼ばれました。明治36年(1903)今の所に鉄橋ができ「万世橋」と呼ばれましたが、関東大震災にてこわれ、現在の橋は昭和5年(1930)に復興されたものです。

十思公園 (牢屋敷跡)

十思公園と西隣の十思スクエア(元十思小学校)及び江戸通りまでの一帯が牢屋敷跡である。幕府の牢屋敷ははじめ常磐門門外にあったが慶長年間(1596～1615)この地に移った。明治8年市ヶ谷監獄所に移り建物は撤去され空き地となりその後寺院、小学校の敷地となった。公園の東南入口には「時の鐘」「牢屋敷跡」「吉田松陰終焉の地」の由来を記した「江戸三縁史跡」の説明板がたち、植え込みの中に「松陰先生終焉の地」「杵屋勝三郎歴代記念碑」「石町時の鐘の鐘楼」があります。

水天宮

蛸殻町 2-4

水難除けの神でしたが、現在は安産の神として有名です。総本社は久留米にあり、久留米藩主の有馬頼徳が三田赤羽の江戸藩邸内に分社建立したのが始まりです。

日本国道路原票

日本橋は江戸初期慶長9年(1604)、五街道の起点となり、一里塚の里程の原点でありました。明治以後国道の起点となり、現在は中央部に「日本国道路原票」の銅板が埋設されている。橋の北詰にレプリカが置かれてあります。

日本橋由来記の碑

日本橋室町 1-1

「ふる雪の白きを見せぬ日本橋」といわれた日本橋は、慶長8年(1603)に架かり、翌年には五街道の起点に定められた。

ウォーキングマナー五ヶ条

- 1 やあ！お早う 明るいい挨拶 さわやかに
- 2 信号で、あわてず あせらず 待つ余裕
- 3 ひろがるな、参加者だけの道じゃない
- 4 自分のゴミ、自分の責任もち帰り
- 5 歩かせて、いただく土地に感謝して

一般社団法人日本市民スポーツ連盟

〒住所：〒113-0034

東京都文京区湯島 4-6-11
 湯島ハイタウン A棟 208号

電話：03-6240-0792

FAX：03-6240-0793

E-mail：jva@ivv-japan.jp